

情報公開資料

別紙4

平成 30 年度
学校関係者評価委員会
報告書

平成 30 年 8 月

学校法人 タイケン科学学園
日本ウェルネス保育専門学校

目 次

P. 3 1. 学校関係者評価委員会の目的

P. 3 2. 学校関係者評価委員会の所管事項

P. 3 3. 平成 29 年度 学校関係者評価委員会開催概要

P. 4 4. 議 題

- (1) 平成 29 年度自己評価報告書に対する、委員からの評価及び意見、その改善方策
- (2) こども保育学科の学科内容再編について
- (3) 医療情報管理学科の授業の進め方について

1. 学校関係者評価委員会の目的

日本ウェルネス保育専門学校が、関係者の理解と協力を得ながら学校運営を進めていくために、学校の基礎的情報の把握・分析を行ない、学校関係者(関係業界、所轄庁、学生、保護者、地域社会等)との信頼関係を強めることを目的に設置する

(日本ウェルネス保育専門学校 学校関係者評価委員会 規則 第1条より抜粋)

2. 学校関係者評価委員会の所管事項

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1)学校の教育目標・人材育成の目標及び教育指導計画、経営方針
- (2)教職員の組織、教員の専門性
- (3)学生支援・キャリア教育の実践的職業教育
- (4)財務情報の公開・法令等の遵守
- (5)その他、自己評価・学校関係者評価を踏まえた改善方策

(日本ウェルネス保育専門学校 学校関係者評価委員会 規則 第2条より)

3. 平成 30 年度 学校関係者評価委員会 開催概要

(1). 日 時 平成 30 年 8 月 28 日 10 時 00 分～12 時 00 分

(2). 場 所 東京都千代田区神田神保町1-52-4
日本ウェルネス保育専門学校 会議室

(3). 出席者 委 員 長 下野 隆征
 委 員 畠山 拓也
 委 員 渡邊 雄一
 職 員 柴岡 信一郎
 職 員 山口 智之
 職 員 増澤 将江

(4). 議 題 1 平成 29 年度自己評価報告書の概要について
 2 こども保育学科の学科内容再編について
 3 医療情報管理学科の授業の進め方及び実習関係について

4. 議 題

(1) 平成29年度自己評価報告書に対する、委員からの評価及び意見、その改善方策

ア. 教育理念・目標

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
・学生及び保護者等に対し、男女共同参画社会で活躍する保育者、医療従事者の養成という将来構想の周知が依然不足している不足しているのではないか。	・学校の将来構想をホームページ及び『学生ガイドブック』に掲載するとともに機会ある毎に当該構想を啓蒙した結果、学生や保護者への周知は改善されてきたものとする。

イ. 学校運営

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムにおいて、理事長等の都合によりスケジュール調整がつかず、一部未実施な月があるがどのような理由か。	・諸々の事由により日程調整がつかず未実施となってしまった。以降、極力実施する日程を固定化し未実施月をなくすることとする。

ウ. 教育活動

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
・ガイドブックの内容が一部陳腐化している部分があり、実際との間で齟齬が発生する可能性がある箇所がある。	・ガイドブックの内容を最新化するとともに定期的な見直しを実施する。

エ. 学修成果

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
・退学率全体としては年々減少しているものの、依然としてメンタル面を主な原因とした退学率は横ばいであるが、所見は。	・担任とスクールカウンセラーと緊密な連携を図り、きめ細かな身上把握に努めるとともに保護者とも必要の都度連絡をとる。今後も常に退学率の低減を考え、学生との距離の保ち方を様々な方策で講じていくこととする。

オ. 学生支援

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
・100%の就職率及びその後の離職率の低減を目指す必要があると考えるが、所見を伺いたい。	・成績表には表だって現れない授業中の受講態度、遅刻・早退等については、機会ある毎に時間の大切さ、社会人としての責任感を指導して行くこととする。

カ. 教育環境

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
・図書類について、一部陳腐化しているものについて更新する必要がある。	・定期的に図書類を見直し逐次更新する。

キ. 学生の受入れ募集

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
・タイケン学園グループ内の日本ウェルネス高等学校に対するガイダンスが未実施であるが、内部進学の見点からも実施すべきでは。	・定期的に当該高等学校に対するガイダンスを実施し、安定した学生募集に資する。

ク. 財務

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
・特になし。	

ケ. 法令等の遵守

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
特になし。	

コ. 社会貢献・地域貢献

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
・地域へのボランティア活動では、毎回のごとく学生の参加者数が少なかった。ボランティア活動に対する啓蒙が不足しているのではないか。	・あらゆる機会を通じ啓蒙を図る。

(2) こども保育学科の学科内容再編について

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
近年、核家族化、共働き世帯、片親などの時代背景から保育所に対するニーズが急速に高まっている。現場即戦力となり得る人材育成のために、どのようなスキルを身につけさせるべきかを改めて検討する必要性が示された。	昨年度の意見及び改善策レビューに引き続き、今年度は現場経験豊富な講師を任用できるように、多方面へ依頼をかけることとした。講師に対しては本校の教育方針、目標とする保育者像を従来以上に丁寧に伝えシラバスに反映させるように依頼することとした。また、学科長や主任は授業見学、日誌にチェック、講師との面談などを通して効果的に学習が進むように支援する

(3) 医療情報管理学科の授業の進め方及び実習関係について

委員からの評価及び意見	委員からの意見に対する改善方策
・授業の進め方についての検証と分析実習の取り組みについて、実習巡回の際、実習ノートが書けない、挨拶が出来ない等のご指摘を頂いた。委員からは、現場の立場からも実習の重要性を学生に説明し、一般の患者さまを相手に実習指導を行っているという環境を学生に理解してもらいたい等の意見が出された。	来年度の実習前教育で、実習中に起こり得る問題点の事例を数多くあげて教育するとともに実習ノート書き方については、社説の書き取りや要約の反復練習をすることとした。また、病院実習で就職に繋がる場合もあるので、実習の取り組みに関して、引き続き検証と分析を重ねていくこととする。